ケルヒャー業務用床洗浄機
取扱説明書

BD 43/25 C Classic Bp
BD 50/50 C Classic Bp





ご使用前にバッテリーの充電を行なってください。

この度はケルヒャー商品をお買い上げ頂きまして誠に有難うございました。
ご使用に先立ち、取扱説明書をよくお読みいただき安全に正しくご使用ください。お読みになられた後は、本書をすぐに取り出せる場所に保管してください。

目次

安全上の注意	3 ～ 9
各部名称	10～11
使用前の準備	12～13
操作方法	14
作業が終わったら	15～16
バッテリーの充電	17
お手入れとメンテナンス	18～21
トラブルシューティング	22～23
BD 43/25 C Classic Bp 技術仕様	24
BD 50/50 C Classic Bp 技術仕様	25
修理、ユーザー登録・保証、お問い合わせ先	26

年次改良などによる仕様変更により、本書に掲載されている図、画像と現物が異なる場合がございます。ご了承ください。

安全注意事項 床洗浄機

当機器の最初の使用前には、この純正取扱説明書ならびに-安全注意事項-をお読みください。記載事項に従ってください。両方の説明書は、後の使用あるいは次の所有者のために保管してください。

- 取扱説明書内の備考の他に、使用国の一般的な安全/事故防止規定を順守してください。
- 機器に取り付けられた警告および情報標識は、安全な操作のための重要な情報を提供します。

セキュリティレベル

⚠ *危険*

- *この注記は死亡に至る直近の危険を指します。*

⚠ *警告*

- *この注記は身体の重傷または死亡に至る可能性が考えうる危険な状況を指します。*

⚠ *注意*

- *この注記は軽度から中程度の怪我を招く恐れのある危険状態を示唆します。*

注意

- *この注記は器物破損を招く恐れのある危険状態を示唆します。*

個人用保護具

⚠ *注意*

- *機器を取り扱う際には、適切な手袋を着用してください。*

一般的な安全に関する注意事項

⚠ *危険*

- *窒息の危険。包装材に子どもが近寄らないようにしてください。*

⚠ *警告*

- *機器は規定に従ってのみ、使用してください。機器を操作するときは、周辺の状況を考慮し、第三者、特に子供に注意してください。*
- *本機器は、身体的、感覚的、精神的能力に制限がある方、経験および/または知識が不足している人が使用するべきではありません。*
- *装置の取り扱いについて指導を受けた、または操作スキルを持つことを示し、装置の使用を明示的に委託された人のみがデバイスを使用できます。*
- *お子様は本装置を使用しないでください。*
- *お子様が装置を玩具で遊ばないように監督してください。*

⚠ *注意*

- *安全装置は使用者を保護するためのものです。安全装置に変更を加えたり、バイパスさせたりするのは絶対におやめください。*

感電の危険

⚠ *危険*

- *銘形式表示板に記載されている電圧は、電源の電圧と一致している必要があります。*
- *濡れた手で電源プラグやコンセントに触れないでください。*
- *保護クラス Ⅰ の機器は、適切にアースされた電源にのみ接続してください。*

⚠ *警告*

- *液体（洗浄剤など）を使用する作業は、本機が接続されたコンセントに残留電流ブレーカー（最大30mA）が備わっている場合にのみ行うことができます。*
- *デバイスは、電気技師がIEC60364-1に準拠して設置された電気設備にのみ接続してください。*
- *漏れが発生した場合は、直ちに機器をオフにしてください。*
- *泡が発生したり液体が漏れたりした場合は、すぐに機器の電源を切り、電源プラグを抜いてください。*
- *毎回の運転前に、電源プラグ付きの電源コードが損傷していないか必ず点検してください。電源コードが損傷している場合はデバイスを作動させないでください。損傷した電源コードは、認定を受けたカスタマーサービス/電気技師にすぐに交換してもらってください。*
- *踏みつけたり、押しつぶしたり、引っ張ったりして、電源コードや延長ケーブルを損傷させないでください。電源コードを熱、オイル、鋭利な角部から保護してください。*
- *製造元が指定した主電源接続ケーブルのみを使用してください。注文番号とタイプについては、 取扱説明書をご覧ください。*
- *主電源接続部または延長ケーブルのカップリングは、同じ防滴性能と機械的強度を持つものにのみ交換してください。*

注意

- *スイッチオンの際には、短時間の電圧降下が発生します。*
- *主電源の状態が悪いと、他の機器に影響を与える可能性があります。*
- *主電源インピーダンスが0. 15Ω以下であれば、干渉はありません。*

操作

⚠ *危険*

- *危険なエリア（ガソリンスタンドなど）で機器を使用する場合は、そのエリアの安全規制を遵守してください。*
- *爆発の恐れのある場所での操作は禁止されています。*
- *爆発性の液体、可燃性ガス、爆発性の粉塵、または希釈されていない酸や溶剤を散布したり、吸引しないでください。これには、酸素と一緒に渦巻くことによって爆発性の蒸気または混合物を生成する可能性があるガソリン、シンナーや暖房用油といった物質が含まれます。また、機器で使用されている素材を腐食するアセトン、希釈されていない酸および溶媒も含まれています。*
- *燃えやすい物や火の付いているものを吸引しないでください。*

⚠ *警告*

- *機器で人や動物を吸引しないでください。*
- *傾斜面では、取扱説明書に指定されている側面方向および進行方向への傾斜角度を超えないようにしてください。*
- *作業領域には、回転するディスクに引っかかって投げ出されるようなものがないことを確認してください。*
- *回転部分に巻き込まれないように、身体にフィットする服を着用してください（ネクタイや長めのフレアスカートなどは着用しないこと）。*

⚠ *注意*

- *使用前に、機器と付属品が適切な状態にあること、そして操作上の安全性を確認してください。機器が損傷の際は機器のプラグを抜いて使用しないでください。*
- *モーターが作動している間は、決して、本機を監視なしで放置しないでください。本機から離れる時には必ずその前に、モーターを停止し、不意に動かないように機器を固定し、必要に応じてパーキングブレーキをかけて、イグニッションキー／インテリジェントキーを抜き取ってください。*

- エンジン運転中はフードを開けないでください。
- 本機器は、健康に有害な粉塵の吸引には適していません。

注意

- 0°C未満の温度で機器を操作しないでください。
- 本機にソケットがある場合は、取扱説明書で指定されているアクセサリーおよびアタッチメントを接続するためにだけ使用してください。
- この機器は掃除機ではありません。機器から吐水した量より多くの液体を吸引しないでください。乾燥した汚れの吸引には使用しないでください。
- この機器は、取扱説明書で示されている表面にのみ適しています。
- 本機は、湿った床または水深最大1 cmの濡れた床に適しています。水深が1 cmを超える領域では、運転しないでください。
- 汚水と洗浄液を処分するときは、各自治体の規制を守ってください。
- 無許可の使用を防止するため、イグニッションキー/インテリジェントキーが装備された機器では、イグニッションキー/インテリジェントキーを抜き取って保管してください。
- 低温の屋外では使用しないでください。

洗浄剤を使用しての操作

⚠ 注意 ● 洗浄剤は子供の手の届かないところに保管してください。 ● 推奨される洗浄剤を希釈せずに使用しないでください。本製品は、酸、アルカリ、または環境に有害な物質を含まないため、安全にご使用いただけます。これらの推奨された製品は、酸、アルカリ、または環境に有害な物質を含まないため、操作上安全です。洗浄剤が目に入った場合、すぐに多量の水で洗い流し、洗浄剤を飲み込んだ場合も、直ちに医師の診察を受けてください。 ● メーカーが推奨する洗浄剤のみを使用し、洗浄剤メーカーからの使用、廃棄に関する指示や警告に従ってください。

回転ブラシ/ディスク付きの機器

⚠ 危険

- 感電の危険。クリーニングヘッドの回転ブラシ/ディスクで、電源コードまたは延長コード上を走行しないでください。

⚠ 注意

- 不適切なブラシ/ディスクを使用すると、安全が損なわれます。ブラシ/ディスクは機器に付属のもの、または取扱説明書で推奨されているもののみを使用してください。

バッテリー駆動の機器

⚠ 危険

- 爆発の危険があります。バッテリーの近くやバッテリーを充電している部屋の中では、裸火を取り扱ったり、火花を発生させたり、煙草を吸ったりしないでください。
- 爆発、短絡の危険があります。バッテリーの上に工具などを置かないでください。
- 適した消火剤は、二酸化炭素、水、泡、粉末です。

⚠ 注意

- バッテリーの酸で怪我をするおそれがあります。関連する安全規制を順守してください。
- バッテリーおよびバッテリー酸を取り扱う際は、保護手袋、保護服、保護メガネ、顔面保護具を着用してください。
- バッテリーの酸で汚れたり、濡れたりした衣服はすぐに脱いでください。酸と接触した皮膚は水で洗い流すか、シャワーを浴びてください。
- 目に入った場合：少なくとも15分間、水で入念に洗い流します。コンタクトレンズを着用している場合は、可能であればコンタクトレンズを外して、さらに洗い流します。
- 酸性霧を吸入した後：きれいな空気を吸い込みます。
- 飲み込んだ後：すぐに大量の水を飲みます。活性炭を服用します。嘔吐を誘発しないでください。
- 直ちに中毒情報センターまたは医師に連絡してください。
- 酸が土壌や下水道に入らないようにします。
- こぼれた酸は結合剤（砂など）で封じ込めます。
- 石灰またはソーダ灰で酸を中和し、地域の規制に従って酸を廃棄します。

注意

- バッテリーおよび充電器のメーカーの取扱説明書に従ってください。バッテリーの取り扱いに関する法的推奨事項を順守してください。
- バッテリーを放電した状態で放置しないで、できるだけ早くバッテリーを再充電してください。
- 表面漏れ電流を防ぐために、バッテリーは清潔で乾燥した状態に保ちます。金属粉塵などの汚れからバッテリーを保護します。
- 使用済みのバッテリーは、EC指令91/157/EECまたは各国の規制に従って、環境に配慮した方法で廃棄してください。

空気入りタイヤ搭載の機器

⚠ 注意

- 修理およびスペアパーツの取り付けは、認定カスタマーサービスのみに依頼してください。
- 機器を取り扱う際には、常に適切な手袋を着用してください。
- ホイールが複数の部品に分割される機器の場合：タイヤの空気圧を調整する前に、リムのすべてのボルトがしっかり締まっていることを確認してください。
- タイヤの空気圧を調整する前に、コンプレッサーの圧力レギュレーターが正しく設定されていることを確認してください。
- タイヤの空気圧は絶対に許容範囲を超え ないようにしてください。タイヤの最大許容空気圧を決して超えないようにしてください。タイヤの空気圧は、タイヤ、または場合によってはリムで読み取る必要があります。値が異なる場合は、小さい方の値に従ってください。

搭乗式機器

⚠ 危険

- 搭乗式機器は、公道での使用は認められていません。道路での使用許可用の変換キットについては、販売店にお問い合わせください。
- 本機に同伴者を同乗せないでください。
- 搭乗式機器は座席からのみ運転してください。
- ガソリンエンジン式機器の取扱説明書に記載されている、特別な安全に関する注意事項を順守してください。
- 落下物がオペレーターにぶつかる可能性のある領域では、落下物に対する落下物保護構造（FOPS）なしでは機器を使用しないでください。

お手入れとメンテナンス

⚠ *警告*

- *清掃、メンテナンス、部品の交換、別の機能への変更を行う前に、装置のスイッチをオフにする必要があります。主電源で動作する機器の場合は、電源プラグを抜きます。バッテリー駆動の機器では、バッテリープラグを抜くか、バッテリーを取り外します。*

⚠ *注意*

- *修理作業、スペアパーツの取り付け、電気部品の作業は、認定されたカスタマーサービスのみが行ってください。*
- *修理は、認定されたカスタマーサービスセンター、または関連するすべての安全規定に精通しているこの分野の専門家のみが行うことができます。修理は、機器に関連するすべての安全指示に精通しており、資格のある認定されたカスタマーサービスまたはスタッフのみが実行できます。*
- *水位リミッターを定期的に清掃し、損傷の兆候がないかどうか確認してください。*

注意

- *機器の安全点検は使用する場所で適用されている規制に基づいて行ってください。*
- *ショートまたはその他の損傷。機器の清掃にホースによる水噴射や高圧水噴射を使用しないでください。*

アクセサリーとスペアパーツ

⚠ ***注意*** *● メーカーが承認したアクセサリおよびスペアパーツのみを使用してください。純正アクセサリおよびスペアパーツを使用することで、機器の安全でトラブルの無い動作が保証されます。*

搬送

⚠ *注意*

- *搬送前にモーターを停止してください。重量を考慮して機器を固定してください。取扱説明書の章 技術データ を参照してください。*

使用上の注意

◎ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に 防止するために、いろいろな絵表示で注意事項を説明しています。内容をよく理解してか ら本文をお読みください。



警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「死亡または 重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容」を示 しています。



この記号は「してはいけないこと（禁止）」を示します。



この記号は「必ず実行すること」を示します。



注意　**洗浄は自己責任にて行うこと**

万一洗浄対象物に損傷、破損、変色などが生じた場合、もしくは正しく操作をせずにケガを負った場合、当社では一切の責任を負いません。

⚠ご使用時の警告

子供には触らせないこと
・けがをする場合があります。
本体、バッテリープラグに水をかけないこと
・感電する場合があります。
濡れた手でバッテリープラグを触らないこと
・感電する場合があります。
改造をしないこと
・火災、感電、けがの原因になります。
純正部品以外の機械の性能や機能に適さない部品を使用しないこと
・機能を十分に発揮せず思わぬ事故になる場合があります。
危険物や火気のある場所で使用しないこと
・火災の原因となります。
危険物を注入・吸引しないこと
・灯油、ガソリン、オイル、ワックス、塗料、アセトン、希釈していな い酸や溶剤などの液体を注入、吸引しないでください。
・火災や機器の損傷の原因になります。
フッ化水素酸および塩素を含む洗浄剤を使用しないこと
・人体への悪影響を生じる場合がある他、機器の損傷の原因となります。

汚染された可能性のある場所を洗浄する場合はマスク等適切な防護具 を身に着けること
・ 汚染物質が飛散し人体に悪影響を生じる場合があります。
修理はケルヒャーまたはケルヒャー認定技術者が行うこと
・ お客様による修理は事故になる場合があります。

⚠ご使用時の注意

操作説明を受けた者以外使用しないこと
・ 誤動作によるけがや事故の原因になります。

発泡性の洗浄剤を使用しないこと
・ フロートが正常に動作せず、機器の損傷の原因となります。

落下・強い衝撃を与えないこと
・ 故障、破損の原因になります。

凍結した床面の洗浄に使用しないこと
・ 当機は凍結した床面の洗浄を目的とした設計ではありません。

タンク内部はいつもきれいな状態で保管すること
・ 汚れたまま保管した場合、悪臭が発生する場合があります。

メンテナンスを行う前にバッテリープラグを外すこと
・ 安全にメンテナンスを行うために必ず実施してください。

メンテナンスを行う前に洗浄水や汚水を排水すること
・ 安全にメンテナンスを行うために必ず実施してください。

ケルヒャー純正アクセサリー・パーツ・洗浄剤を使用すること
・ 純正以外の物品を使用した場合、故障の原因となります。

作業中に疲労感が生じた場合は作業を中断または中止すること
・ 体調を崩す場合があります。

使用環境は 5 ～ 40℃で使用すること
・ 上記範囲外で使用した場合、機器が正常に作動しない場合があります。

給水温度は最高 60℃
・ 上記範囲外で使用した場合、機器の損傷の原因となります。

テスト洗浄を行うこと
・ 床面を損傷する場合があります。

ブラシやパッド、スクイジーゴムなどの摩耗状態を確認すること
・ 十分な洗浄効果が発揮できず、床面を損傷する場合があります。

汚水の排水や洗浄剤の廃棄は関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切に処理すること
・ 事前に処理方法を確認してください。

⚠バッテリーに関する警告

バッテリーをショートさせないこと
・ 爆発する場合があります。

バッテリーに水をかけないこと
・ 火災の原因になります。

バッテリーに衝撃を与えないこと
・ バッテリーケースが破損し内部の充填液が飛散して衣服や人体に付着した場合、火傷や失明などの原因になります。

液漏れしたバッテリーに触らないこと
・ 充填液が皮膚に付着した場合、人体に悪影響を生じる場合があります。

危険物のある場所で充電しないこと
・ 引火爆発する場合があります。

接続ケーブルが確実に取り付けられていることを確認すること
・ 接続が緩い場合はショートし、爆発する場合があります。

⚠バッテリーに関する注意

専用充電器以外で充電しないこと
・ バッテリーの充電不良の原因となります。

充電時に充電器の通気孔をふさがないこと
・ 充電器の故障の原因となります。

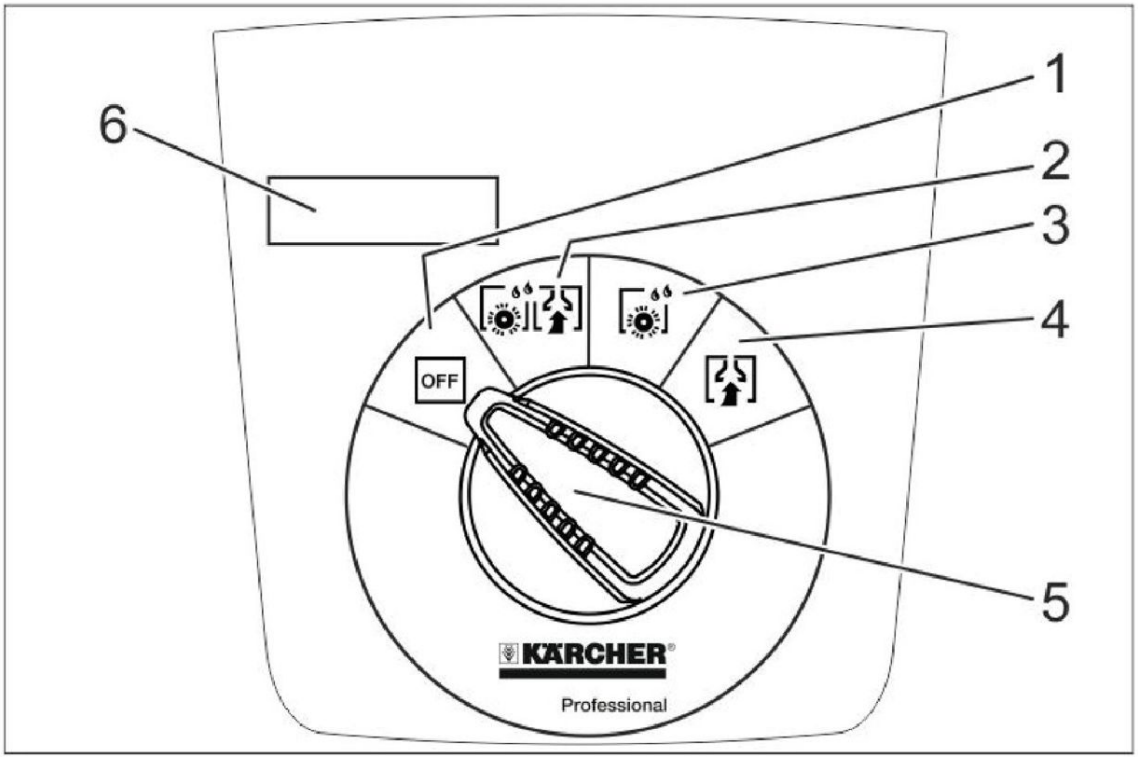
長期保管時は保管前に充電すること
・ 1 か月以上使用しない場合は毎月 1 度充電を行ってください。
・ バッテリーは使用していなくても自然放電し電圧が低下します。
・ 使用前にも充電を行ってください。

各部名称



1. 吸引口フィルター
2. 安全ハンドルスイッチ
3. バッテリースペース
4. 汚水排水ホース
5. ホームベースキット用レール
6. フロート
7. 洗浄水タンク
8. 洗浄水排水キャップ
9. ブラシヘッド
10. ディスクブラシ(内部)
11. 洗浄水タンクキャップ
12. ブラシ外しペダル
13. 汚水タンク
14. 移動用キャスターペダル
15. 洗浄水水位計
16. スクイジー角度調整ダイヤル
17. スクイジー固定ナット
18. スクイジー
19. ガイドローラー
20. 吸引ホース
21. 水量調整ダイヤル
22. バッテリープラグ
23. スクイジー昇降レバー
24. 操作パネル　詳細は次ページ参照ください
25. ハンドル
26. アクセサリートレイ
27. 汚水タンクカバー
28. スクイジーホルダー(BD 43/25 C Classic Bp)のみ

各部名称



＜操作パネル＞

1. 電源OFF
2. 洗浄＆吸引モード
3. 洗浄のみのモード（2step洗浄時に）
4. 吸引のみのモード
5. メインダイヤルスイッチ
   スイッチを回して任意のモードに合わせます。
6. ディスプレイ
   電源を入れるとバッテリー残量などが表示されます。

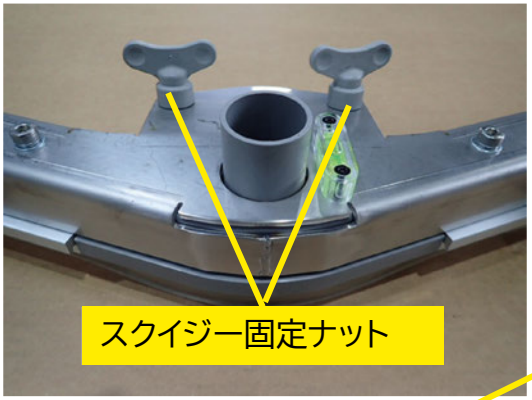
使用前の準備

＜バッテリーの充電＞

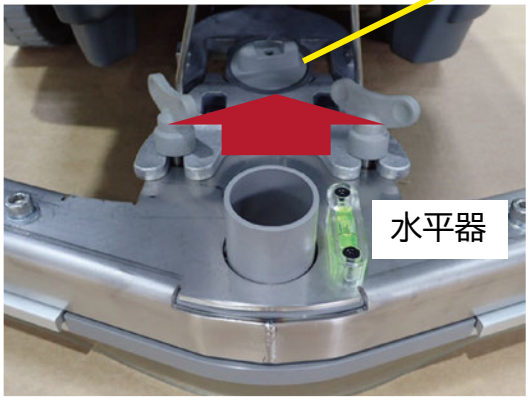


本体の充電器接続側のプラグと充電器のプラグを接続し、充電器のスイッチを入れて充電します。
バッテリー充電方法の詳細はP17 を参照してください。

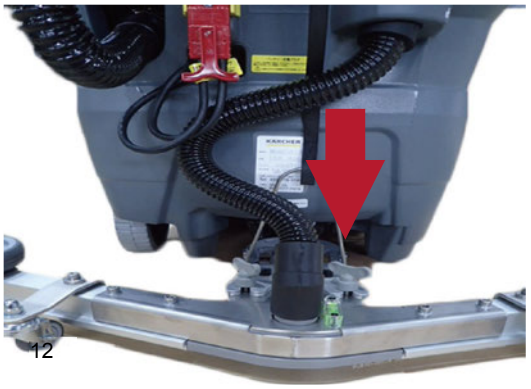
＜スクイジーの取り付け＞



1. スクイジーのスクイジー固定ナットを両方緩めます。



2. 本体背面下部のスクイジーホルダーにスクイジーを装着し、スクイジー固定ナットでしっかり締めて固定します。スクイジーの水平器を確認しながら、スクイジー角度調整ダイヤルを回し、スクイジーが水平になるように取付ます。



3. 吸引ホースをスクイジーにしっかり差し込みます。

使用前の準備

＜清水の給水＞

清水タンクキャップ



1. 洗浄水タンクキャップを外します。

2. 清水を給水し、必要に応じて適切な洗浄剤を適正量入れます。
※ 洗浄剤の希釈濃度を守ってください。
※ 発泡性の洗浄剤は使用しないでください。

3. 給水が終わったら洗浄水タンクキャップを戻します。

＜汚水排水ホースのキャップの確認＞

汚水排水ホースのキャップ



汚水排水ホースのキャップがしっかり閉まっている ことを確認します。

※キャップが完全に閉まっていないと、汚水が吸水されません。

＜本体の移動＞



移動用キャスターペダル

本体を移動する時は移動用キャスターを下ろし、ハ ンドルをしっかり握って本体を押します。

※ 移動用キャスターを昇降する際は、本体を後方に 傾けてブラシヘッドを浮かした状態でペダルを操作してください。
ペダルを倒す:キャスターを上げる ペダルを立てる:キャスターを下げる。

※ 床面清掃時はキャスターを上げてください。

操作方法

※ 清掃作業を行う前に、移動用キャスターが下りて いる場合は移動用キャスターペダルを倒してキャ スターを上げてください。



1. メインダイヤルスイッチを任意のモードに合わせます。(写真1)

2. 【洗浄・吸引モード】または【吸引モード】を選択する場合は、スクイジー昇降レバーを下ろしてスクイジーを床面に接地させます。(写真2)



3. 【洗浄・吸引モード】または【洗浄モード】を選択して、洗浄水を出して洗浄する場合は、水量調整ダイヤルを回して水量を設定します。(写真3)



- 水量調整ダイヤルは、使い始めからMAXの位置まで回さず、MINの少し上くらいに合わせ、床面や汚れの状況に応じて、徐々に水量を増やすようにしてください。

- 洗浄水を出さずに洗浄する場合または、【吸 引モード】を選択する場合は、水量調整ダ イヤルをOFF の位置に合わせてください。



4. 安全ハンドルスイッチを握り、本体を押しながら清掃を行います。(図 4)

5. 安全ハンドルスイッチがON になるとブラシ(または パッド)が回転します。水量調整ダイヤルが OFF の位置以外の場合は、洗浄水が吐出され ます。
   - スクイジーを下ろしている場合は、汚水の 回収状況に応じて本体のスクイジー角度調 整ダイヤルやスクイジーのスクイジー高さ 調整ノブを回し、汚水の吸い残しが出ない ように調整してください。

⚠ 注意 作業を行う場合は周囲に人や障害物が無いか十分に安全を確認し、ハン ドルをしっかり握って操作してください。

作業が終わったら

本体の電源を切る



1. 水量調整ダイヤルをOFF に合わせます。
2. 洗浄水を出して洗浄していた場合は、【吸引モー ド】を選択して床面の残水を吸引してください。
3. メインダイヤルスイッチをOFF に合わせます。

汚水を排出する



1. 本体を排水場所まで移動し、汚水排水ホースを汚 水タンクから外します。汚水排水ホース先端の キャップと蛇腹ホースの間の軟らかい部分を折り 曲げて排水場所に近づけ、キャップを開けて汚水 を排水します。
2. 汚水タンクは本体から取り外してタンク単体で持ち運ぶこともできます。持ち運びの際は落とした りしないようにご注意ください。

【注意】

- 汚水タンク内の水量が多いと、排水直後はホース から勢いよく汚水が排水される場合があります。跳ね返りや周囲への飛散などにご注意ください。
- 汚水タンクの排水後は清水でタンク内部を洗浄 し、汚水排水ホースのキャップをしっかり閉めて ホースを汚水タンクの固定位置に戻します。

洗浄水の排水



1. 清水を排出する本体を排水場所まで移動し、本体側面の洗浄水排 水キャップをゆっくり回して外し、排水します。洗浄剤を入れて使用した場合は、清水でタンク内 部を十分にすすいでください。

2. 排水が終わったらキャップをしっかり閉めます。

作業が終わったら

＜バッテリーの充電＞



必要に応じて、バッテリーを充電します。

バッテリー充電方法の詳細はP17 を参照してください。

＜保管＞





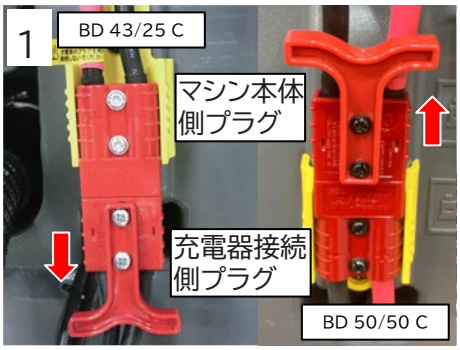
ブラシやパッド変形防止のため、移動用キャスター ペダルを立ててキャスターを下げた状態で保管ください。

【注意】

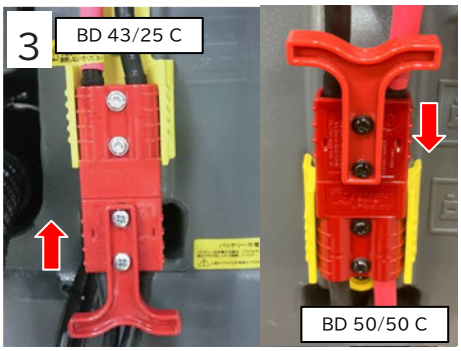
- キャスターにはブレーキはありませんので、平滑な 床面で保管ください。
- また、汚水タンク側面のスクイジーホルダーにスク イジーを固定・保管することも可能です。
- スクイジーをスクイジーホルダーに取り付ける場合 は、スクイジー固定ナットを両方緩めてスクイジー ホルダーのくぼみにスクイジーのボルトを合わせて 乗せ、スクイジー固定ナットをしっかり締めます。 スクイジーを乗せる際は、スクイジーゴムが外側・ スクイジーのキャスターが上側を向くようにしてく ださい。

バッテリーの充電

ご使用前にバッテリーの充電を必ずしてください。







1. 本体背面のバッテリープラグを外します。（図 1）
バッテリープラグを取り外す際は、取っ手をつかんでゆっくり引き抜いてください。
※BD50/50CBpをご使用の方へ：シリアルNo.351653以前は充電プラグを「下側に引き抜いて」ください。

2. **下側の【充電器接続側プラグ】と充電器のプラグを接続します。**この時にマシン本体側プラグと充電器を接続しないでください。故障の原因となります。

3. 充電器の電源プラグをコンセントに差し込み、充電器の電源スイッチを入れ、充電を開始します。（図 2）

4. 充電が開始されると、充電器の”電源”ランプが 赤に点灯し、バッテリーが満充電になると” 完了 ” ランプが緑に点灯します。

5. 充電時間は約 10 ～ 12 時間です。

6. 充電完了後、充電器の電源スイッチを必ず先に切り、電源プラグをコンセントから抜き、充電プラグを外します。

7. 本体のバッテリープラグを接続します。（図 3）

⚠注意

- 濡れた手でバッテリーの接続ケーブルや電源プラグ、充電プラグを触 らないでください。
- 金属片を充電器やバッテリーの端子に接触させないでください。
- 電源プラグをコンセントから抜く時はプラグ部分を持ってください。
- 絶対に充電器のプラグを本体側のプラグに接続しないでください。
- ケルヒャー指定の充電器を使用してください。
- 充電器の取扱説明書を良く読んでから使用してください。
- 直射日光が当たる場所や発熱体の近辺など、高温になる場所で充電器
- を使用しないでください。
- 充電器の通気孔をふさがないでください。
- 可燃物の周辺で充電器を使用しないでください。
- 短時間の使用ごとにバッテリーの充電を行うことは避けてください。
- 充電器を使用しない場合は電源プラグをコンセントに接続しないでください。

お手入れ・メンテナンス

注意
メンテナンスを行う際は必ず電源を切った状態で行ってください。注意 汚水タンク、洗浄水タンクの水を排水してください。バッテリーを充電中に行わないでください。

＜本体のお手入れ＞
本体外観の汚れは、ぬるま湯か中性洗剤に浸したやわらかい布を固くしぼって拭き取ってく ださい。

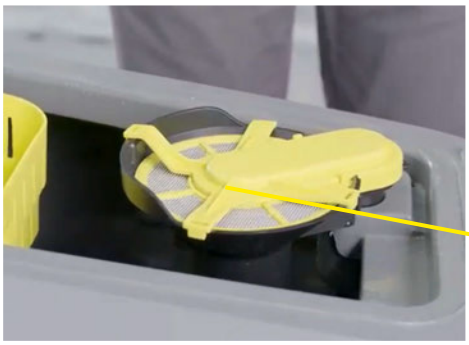
注意
ガソリン、シンナー、ベンジン、掃除用・殺虫用・整髪スプレーなどをかけないでください。破損、変質、変色の原因となります。

点検箇所	点検項目および実施項目	点検頻度		
		作業ごと	週1回	月1回
汚水タンク	• 汚水タンクの排水	●		
	• 汚水タンク内部のすすぎ	●		
	• フロートの動作確認	●		
汚水タンクカバー	• 汚水タンクカバーの汚れの有無 ⇒汚れている場合は清水で洗ってください。	●		
	• シールの変形、破損の有無 ⇒変形、破損している場合は新品に交換して ください。			●
ブラシ または パッド	• 汚れ、異物の有無 ⇒汚れている場合は洗ってください。異物が 絡まったり、挟まったりしている場合は取り 除いてください。	●		
	• 摩耗、破損の有無 ⇒摩耗、破損している場合は新品に交換して ください。	●		
スクイジー	• スクイジーゴムの汚れの有無 ⇒汚れている場合は清水で洗ってください。	●		
	• スクイジーゴムの摩耗、破損の有無 ⇒摩耗、破損している場合は新品に交換して ください。	●		
	• スクイジー吸引口の詰まりの有無 ⇒詰まりがある場合は取り除いてください。	●		
電磁バルブ	• 汚れ、詰まりの有無 ⇒汚れや詰まりがある場合は取り除いてくだ さい。		●	
吸引ホース	• 汚れ、詰まりの有無 ⇒汚れや詰まりがある場合は取り除いてくだ さい。劣化・硬化・損傷している場合は新品 に交換してください。		●	
吸引口フィルター	• 汚れ、詰まりの有無 ⇒汚れや詰まりがある場合は取り除いてくだ さい。劣化・硬化・損傷している場合は新品 に交換してください。		●	
吸引ダクト	• 汚れ、詰まりの有無 ⇒汚れや詰まりがある場合は取り除いてくだ さい。劣化・硬化・損傷している場合は新品 に交換してください。			●
バッテリー	• ケーブルの接続状況の確認 ⇒ナットに緩みがある場合はバッテリープラ グを外してからケーブルのナットを締め直し てください。			●

ケルヒャーによる有償点検も行っております。
詳細は業務用製品コールセンター（P22 記載）までお問い合わせください。

お手入れ・メンテナンス

＜汚水タンクのフロート および カバー＞



フロート(浮き、ボール状のもの)がスムーズに上下に動くかを確認 します。

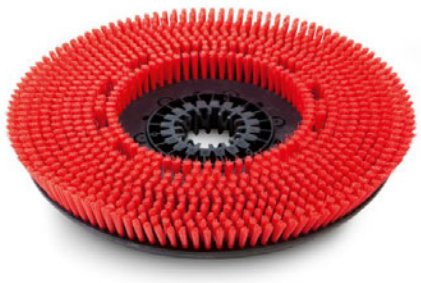
フロート
（この中に入っているボール）



汚水タンク内側のシール(ゴムパッキン)の状態を 確認します。
摩耗や損傷がある場合は交換してください。

シール
（溝部分に埋め込まれているスポンジ状のもの）

＜ブラシ または パッド＞



状態を確認します。
汚れが付着している場合は洗浄し、摩耗や損傷があ る場合は交換してください。



本体からの外し方
本体を後方に傾けてブラシヘッドを浮かせた状態で ブラシ外しペダルをしっかり踏み込んでブラシ(ま たはパッド台)を外します。

お手入れ・メンテナンス

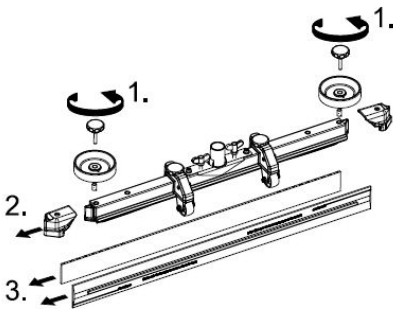


スクイジー

スクイジーゴムの状態を確認します。
汚れが付着している場合は洗浄してください。
破損または交換ライン(”CHANGE LIP” と書かれて いる線)まで摩耗している場合は上下を入れ替える か、新品と交換してください。



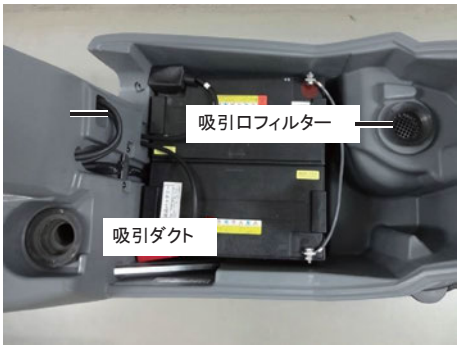
スクイジーの吸引口にゴミや異物が詰まっていないか確認します。
ゴミや異物が詰まっている場合は取り除いてください。



スクイジーゴムの交換方法

※図はストレートタイプ。V 字型も同様です

1. ガイドローラー上部のローラー固定ノブを緩めて取り外します。
2. ガイドローラーとその下のエンドカバーを取り外します。
3. スクイジーゴムを引き抜き、交換します。交換後は逆の手順で戻します。



＜吸引口フィルター および 吸引ダクト＞

シールの状態を確認します。
汚れが付着している場合は取り除きし、摩耗や損傷がある場合は交換してください。

お手入れ・メンテナンス



吸引ホース

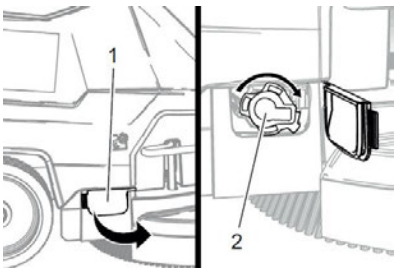
状態を確認します。
ホース内部にゴミや異物が詰まっている場合は取り 除き、摩耗や損傷がある場合は交換してください。



バッテリー

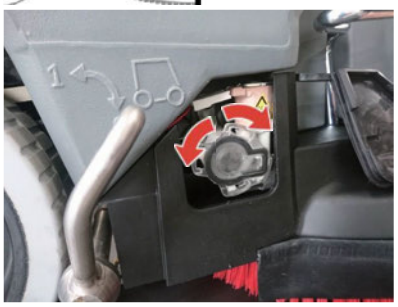
バッテリー接続ケーブルに緩みが無いか確認します。緩みがある場合はバッテリープラグを外し、ナット をしっかり締めてください。

【注意】
バッテリーのショートに注意してください。



電磁バルブ

1 ゴムキャップ
2 電磁バルブカバー





<u>電磁バルブカバーの外し方</u>

1. 移動用キャスターペダル付近のゴムカバーを外し ます。
2. 電磁バルブのカバーを回してツメを外します。
3. 詰まりや汚れがある場合は取り除いてください。

トラブルシューティング

＜操作パネルのディスプレイに表示されるエラーと対策＞

表示	原因	対策
ERR B	ブラシモーターのエラー	ブラシに異物が詰まっていないか点検し、必要であれば異物を取り除く。
ERR T	バキュームモーターのエラー	バキュームの風路を点検します。
LOW BAT	バッテリー残量低下	バッテリーを充電します。
ERR TEMP	温度エラー	マシンを冷やす。冷えるまで操作は控えてください。
Hands Off	メインダイヤルスイッチの選択時に安全ハンドルスイッチがONになった	安全ハンドルスイッチを離し、運転時間またはバッテリ状態が表示されるまで待ちます。その後、再度安全ハンドルスイッチを操作します。
ERR REL	安全装置が起動	メインダイヤルスイッチを“OFF ”に設定し、安全ハンドルスイッチを放し、3 秒間待ってから再始動する。
ERR PWM	電源のエラー	バッテリーの接続状態、電圧レベルをチェックする。

上記対策をしても改善しない場合、又は対策ができない場合は
【業務用製品コールセンター/TEL:045-777-7410】
へお電話ください。

トラブルシューティング

＜操作パネルのディスプレイに表示されないトラブルと対策＞

問題	想定される原因	対策
本体が動かない	バッテリーが充電されていない	バッテリーを充電してください。
	バッテリーの寿命	バッテリーを交換してください。
	プログラムスイッチがOFFの位 置になっている	任意のモードに合わせてください。
	バッテリープラグが正しく接続 されていない	バッテリープラグを正しく接続してください。
洗浄水が十分に出ない	清水の量が不足している	清水タンクに清水を給水してください。
	洗浄水吐出量が少ない	洗浄水調整ダイヤルを回して吐出量を調整してください。
	電磁バルブが詰まっている	フィルターを清掃して詰まりを取り除いてください。
	吐出バルブが詰まっている	ケルヒャーサービスフロントにご連絡ください。
汚水が十分に吸引されない	汚水タンクカバーがしっかり閉 まっていない	汚水タンクカバー内側のシールが変形、破損している場合は交換してください。
	汚水タンクが満水	汚水を排水してください。
	汚水排水ホースのキャップが閉 まっていない	汚水排水ホースのキャップをしっかり閉めてください。
	フロートの作動不良	フロートがスムーズに動くか確認してください。
	吸引口フィルターが詰まってい る	フィルターを清掃して詰まりを取り除いてください。
	スクイジーが下がっていない	スクイジー昇降レバーを下げてください。
	スクイジーの調整が不適切	スクイジー角度調整ダイヤルやスクイジーの高さ調整ノブで調整してくださ い。
	スクイジーゴムが摩耗している	新しいスクイジーゴムに交換してください。
	吸引ホースに異物が詰まって いる	異物を取り除いてください。
	吸引ホースが緩んでいる	スクイジーの吸引口にしっかり差し込んでください。
洗浄結果が良くない	移動キャスターが下りている	移動キャスターを上げてください。
	ブラシ、パッド、洗浄剤が 合っていない	床面や汚れの状態に合わせて適切なものを使用してください。
	ブラシまたはパッドが摩耗し ている	摩耗している場合は交換してください。
ブラシまたはパッドが回転しない	作動スイッチが握られていな い	ハンドルと一緒に作動スイッチを握ってください。
	異物が絡まったり挟まったり している	異物を取り除いてください。
	ブラシモーターのオーバーヒート	モーターが過熱している場合は冷めるまで時間をおいてください。電源を切っ て30分程度置いてから再度電源を入れてください。



BD 43/25 C Classic Bp 主要スペック	
動力	バッテリー
駆動方式	手押し＋ディスクブラシ回転アシスト
ブラシの作業幅 (mm)	430
作業幅、バキューム時(mm)	750
淡水/汚水のタンク (l)	25 / 25
理論上の面積パフォーマンス (m²/h)	最大1720
実用面積性能(m²/h) @2km/h	860
電池のタイプ	メンテナンスフリー
バッテリー (V/Ah)	24 / 90
バッテリー駆動時間 (h)	最大約2時間15分
バッテリー充電時間 (h)	約12時間
充電器用電源	100V / 50Hz～60Hz
ブラシ回転数(rpm)	180
ブラシ接触圧	最大40g/cm² / 最大28kg
通路旋回幅(mm)	1240
水の使用量	最大2.7L/分
音圧レベル (dB(A))	66
重量(付属品なし)(kg)	108
寸法 (長さ x 幅 x 高さ) (mm)	1135 x 520 x 1025



BD 50/50 C Classic Bp 主要スペック	
動力	バッテリー
駆動方式	手押し＋ディスクブラシ回転アシスト
ブラシの作業幅 (mm)	510
作業幅、バキューム時(mm)	900
淡水/汚水のタンク (l)	50 / 50
理論上の面積パフォーマンス (m²/h)	最大2040
実用面積性能(m²/h)	1020
電池のタイプ	メンテナンスフリー
バッテリー (V/Ah)	24 / 90
バッテリー駆動時間 (h)	最大約2時間15分
バッテリー充電時間 (h)	約12時間
充電器用電源	100V / 50Hz～60Hz
ブラシ回転数(rpm)	180
ブラシ接触圧	最大28,5g/cm² /最大23kg
通路旋回幅(mm)	1240
水の使用量(リットル/分)	最大2.3L
音圧レベル (dB(A))	66
重量(付属品なし)(kg)	112
寸法 (長さ x 幅 x 高さ) (mm)	1170×570×1025

修理

修理のご用命は弊社ホームページをご覧いただき、申し込みフォームからご依頼ください。
https://www.kaercher.com/jp/service/support_pro/repair_menu.html

この取扱説明書の製品は、「中・大型機」になります。
弊社支店への持ち込み修理と出張修理サービスが対象です。
※修理費用については予告なしに変更する事があります

業務用製品の故障、修理についてのお問い合わせは、**「業務用製品コールセンター」**へご連絡ください。

ユーザー登録・保証

ケルヒャー ジャパン株式会社では、十分なアフターサー ビスを提供するために、当社業務用製品をご購入いただいたお客様にユーザー登録をお願い しております。

＜ユーザー登録方法＞
ケルヒャー ジャパン株式会社のウェブサイトからご登録ください。サービス - 業務用製品ユーザー登録
●ご購入から30日以内にご登録ください。
●ご登録には製品名とシリアルナンバー(製造番号)が必要です。
2台以上ご購入いただいた場合も1台ずつご登録ください。
S/N:xxxxxx の数字がシリアル番号です。

＜保証＞
保証規定については、同梱の保証書をご確認ください。
弊社 Web サイトで最新の情報を入手頂き、お問い合わせください。

＜延長保証について＞
ユーザー登録をいただいたお客さま限定に、保障期間を通常ご購入日から 1 年間のところ、2 年間に延長しております。
そのほか、お得なキャンペーンや新製品のご案内を お送りします。ぜひご登録ください。

お問い合わせ先

＜業務用製品コールセンター＞
受付時間:月～金　AM9:00～PM5:00
(祝祭日、当社休日を除く)

TEL:045-777-7410
FAX:045-438-1320